

この度の東北地方太平洋沖地震により、被災された方々やご家族はじめ、関係する皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

『ユニットケア』

これからのステップ

逆瀬川・星の荘ユニットリーダー

高橋 英人

ユニットケアの特性を更に活かす為、ひとつのユニットに職員を固定配置する試みを始めて一年以上が経ちました。最初は、『なかなかリズムに乗れない』といった意見も聞かれましたが、ようやく定着してきたように感じます。それに加え、多くのリーダーがユニットリーダー研修を受講し、そこで学んだことを実践しています。以下で、それぞれの実際

の取り組みを紹介しながら、さらなるサービスの向上を図る為に私達は何をすべきか、考えたいと思います。

仁川・武庫川ユニットでは早出（朝七時出勤）の職員の人数を増やし、また、夜九時までの職員を配置することにより、ご利用者の起床と就寝の時間を、それぞれのご希望やご様子に沿うよう工夫しています。

青葉台・五月台ユニットでは、入浴に焦点をあて、「なるべく入りたい時に入って頂きたい」という職員の思いから、“入浴予定表”の見直しを行いました。

ふじが丘・すみれが丘ユニットでは、ご利用者の目線の高さに合うように、カレンダーや掲示物などの位置を変更しました。

鶴の荘・亀井荘ユニットでも空間作りに配慮し、リビングに畳や絨毯を敷き、テーブルを置いてくつろげる環境を作りました。

逆瀬川・星の荘ユニットでは、排泄介助時に使用するバケツを廃止して、カラフルなカラーのゴム製のバッグを採用し、ご利用者のプライバシーの尊厳にも配慮して取り組んでいます。

桜台・ひばりが丘ユニットでは、生活状況票を生かし、それぞれのご利用者のペースやケアプランに沿ったケアを、より実現できるようにしました。

これらはほんの一部で、全ての取り組みは紹介できませんが、生活されているご利用者に合わせて適宜変更すべきものにとらえ、どのユニットも画一的にならない様、情報の共有に努めています。

ユニットに職員を固定配置し、それぞれの特徴が少しずつ出てきていると感じますが、職員は他のユニットへの異動もありますので、柔軟性が求められます。しかし、それぞれのご利用者の特徴やニーズを踏まえ、各ユニットで工夫されたサービスが行われている事を理解すれば、より





その為には、リーダーやサブリーダーだけでなく、ユニットの全職員がユニットケアの理解を深める必要があると思います。

高い意識に繋がると思いますが、では、職員の固定に加え、これからは何をすべきか、各ユニットリーダーに確認してみました。

桜台・ひばりが丘ユニット

吉原リーダー

「目が少し内々に行ってしまう点が気になります。職員には他のユニットがどのようなことをしているのかを知ってもらい、あらゆる手段や方法がある事を学んでほしい。また、そのような施設内研修を行うのも一つの手段ではないでしょうか。」

ふじが丘・すみれが丘ユニット

市枝リーダー

ユニットリーダー研修を受講して、あらためて『宝塚ちどり』としての良い部分・誇れる部分、また、各種課題が発見できました。でも、まだまだできることがあると感じました。

吉原・市枝両リーダーをはじめ、

ユニットリーダーは、職員ひとりひとりのレベルアップを図る事が、更なるサービスの向上に繋がるのではないかと考えています。その為には、ユニットケア推進への理解と、各ユニットへの職員固定配置化で、内側のみに寄りがちな目線を、他部署や他事業所、もちろん地域にも向けてみる事が大事だと考えます。

ユニットリーダーとして、私達は協力しあい、各関係者と連携しながら、ご利用者ごとご利用者の生活に寄り添えるよう、努めたいと思います。

○各ユニットより○

♪仁川・武庫川ユニット♪

二月二十一日(月)におやつレクレーションを行いました。今回はバレンタインデーにちなんで、皆さんとチョコレートを作りました。作業中には、あま〜い香りに誘われて、ご利用者が笑顔でフロアに集まって来られました。仕上げには、チョコチップやアーモンド等、好きなトッピングを選んで頂きました。出来

上がったチョコレ

ートを口にされ「甘くて美味しいねえ」「この形可愛いわ」と笑顔で感想を言

って下さいました。皆さんとても満足そうなお様子で、職員も楽しい気分になりました。(目加田)

♪ふじ・すみれユニット♪

ご利用者から「お酒が飲みたい」とのご希望があったこともあり、居酒屋へ行ってきました。ビールを片手に(ノンアルコールビールです

が)話も弾み、大変盛り上がったようです。後で感想を伺うと「十種類以上頼んで食べたわ!」「おいしかったわ!」と大変喜ばれた様子でした。(鍛治)



♪ショートステイ♪

宝塚ちどりでは、毎週水曜日に美容室（要予約）、月曜日が喫茶、木曜日はカラオケ喫茶など、曜日ごとに行事を開催しています。また、毎月決まった日



程でお茶会や各ユニットでのレクリエーションを開催しています。ショートステイのご利用者も、ご利用期間とレクリエーションなどの行事が重なった時はお誘いし、参加されています。特に、美容室や喫茶などは毎週開催していることもあり、その曜日に合わせてショートステイの申し込みをされる方も居られます。月曜日に開催している喫茶を楽しむにされているご利用者からは「この喫茶を楽しみにしているの。家では

なかなかケーキなんか食べら

れないから。」とケーキを頼張

りながら笑顔で仰っています。

（吉田）

○各委員会より○

★事故防止委員会★

二月九日開催

各ユニットにおいて、月に複数回の事故・ヒヤリ報告書があがったご利用者について、どのようにしたら事故を未然に防ぐことができるかをそれぞれ個別に協議しました。協議の中では委員のメンバー間で意見や改善策を出し合い、今までの対策とは違った視点や考え方の提案があがりました。

今後もしリスクマネジメントの意識を向上させると共に、個別の事例についても具体的な協議を重ね、ご利用者が安心して過ごして頂ける様取り組めます。（森本）

★給食委員会★

二月十八日開催

行事食を振り返ると、十二月にはクリスマス料理・手作りケーキ、一月には正月おせち料理、二月には節

分巻き寿司、三月にはひな祭りちら

し寿司・甘酒を提

供し、いずれも好

評で、季節を感じ

ながら楽しくお食

事をして頂けまし

た。四月には昨年

も大好評であった「出張握り寿司」

を企画し、職人が各ユニットまで伺い、目の前で握りたてのお寿司を振

舞う予定です。

定例会議では、食事提供の際に工

夫している点を、ユニット間で共有

できるよう報告会を行っています。

ランチョンマットを季節ごとに変

えたり、ご利用者が輪になるような

形に食事テーブルの位置を変える事

で、ご利用者同士がお互いの顔や様

子を伺いながら、気

遣い合ったり、会話

をはずませたりと

明るい雰囲気にな

ったようです。

その他、厨房との

協議の上、通常の食



事を弁当箱に詰めた形で提供出来る事になりました。前日までの申し出で、一日最大五名まで対応が可能で、衛生管理上、時間の制限はありますが、外出や気分転換などにもうまく活用して頂きたいと思います。

(仲田)

○紙芝居を行いました○

市内の小学校などで紙芝居をしておられるボランティアさんからの申し出を受け、二月二十五日に、特養のご利用者の皆様と一緒に紙芝居レクリエーションを実施しました。

ご利用者に紙芝居がある事をお伝えすると「鞍馬天狗かな？」など定番の紙芝居の演目を想像される方もおられました。実際の演目はボランティアさん独自に創作されたお話



でした。また、ご利用者の皆様にとって懐かしい内容のお話をされたり、歌を歌ったり、体操をしたりと、盛り沢山の内容で、最後まで飽きる事なく楽しんで頂けました。(小林)

○地域交流会に参加しました

二月十九日(土)

午後二時から四時まで、当施設の協力病院である、宝塚第一病院の、地域医療連携委員会が主催する『第二回宝塚第



一病院地域交流会』に参加しました。当日は宝塚ちどりからも十一名が参加し、「地域で支える認知症ケア」や「褥瘡ケア」の講演を伺いました。また、高齢者疑似体験等の実技指導も受け、医療と介護の連携や相互交流を学びました。(小林)

○三枝尚子ナツメロショー

開催しました○

二月十八日(金)今年で三回目となる、三枝尚子さんによるナツメロショーを開催して頂きました。二時間のショーでは、懐かしの歌謡曲を十五曲程歌って頂きました。



三枝さんは、病と闘いながら福祉施設でのショーを続けておられ、今年で十三年目を迎えられるそうです。

ご自身も、各施設でのご利用者との交流で、「たくさんの方々にも元気を頂いているんです。」と満面の笑みで仰いました。ショーに参加されたご利用者も「本当に感動しました。懐かしい歌が聞いて良かったわ」と仰っており、中には感涙にむせばれている方も見られました。(吉田)

○編集後記○

冒頭でもご挨拶しましたが、この度の東北地方太平洋沖地震の影響もあり、被災地に供給する為、電力・ガソリン等が不足している事等から、一部の介護用品や備品の供給がなされていない状況にあります。当法人としても、出来る支援を検討しながら、まずは、館内の節電や消耗品の節約等、国内で求められる対応に協力していきたいと考えます。ご利用者・ご家族、その他ご関係者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。(田中)